

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	放課後等デイサービス彩みどり			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~			令和7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日 ~			令和7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な特性をもった児童がいる中で集団活動を実施している。	職員も活動に一緒に参加することで、それぞれの特性に合わせた活動への参加を支援している。	職員同士それぞれの視点や意見を取り入れながら集団活動の目的を検討していく。
2	活動内容が固定化されないように様々な活動を実施している。	様々な活動を体験することで児童の興味を広げ、自信に繋がるよう支援している。集団活動が苦手な児童に対しても強制するかたちでなく、少しでも参加できるように支援している。	児童一人一人の特性をより理解していくよう、職員間での話し合いを行い連携していく。
3	職員間で常に意見を出し合い、課題を共有し支援に繋げることが出来ている。	朝礼と昼礼の実施や職員会議を実施することで課題を抽出している。	今後も疑問や不安を感じたことを一人で抱え込まずに話せるよう職員間でコミュニケーションをとっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や他事業所との取り組み。	他事業所との交流の機会はあるが、年間を通して頻度が少ない傾向にある。	引き続き他事業所との交流する場を増やしながら地域連携に繋がる行事等を立案していく。
2	保護者様への避難訓練やマニュアル等の周知。	各マニュアルを作成し、活動の中で地震や火災を想定した避難訓練を実施しているが、実施の頻度や共有する機会が限られている。	実施する機会の見直しや取り組みへの共有を強化していく。
3	児童発達支援センター等との連携。	事業所を利用する上で未就学児からの情報共有の場面が少ない。	各機関との連携を行い、情報の収集を図っていく。

<div style="text-align: center; padding: 5px;">公表</div> <div style="text-align: center; padding: 5px;">保護者等からの事業所評価の集計結果</div>								
事業所名		放課後等デイサービス彩みどり						
		公表日 令和7年 12月 20日						
利用児童数 33 回収数 24								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5			室内でボール遊びなど体を動かす活動ができるため確保されていると思う。	活動内容に合わせて室内のスペースの確保して取り組んでおります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	3				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	2			子どもの特性に合わせて声掛けや指導ができる。	必要時は絵カードを用いての声掛けなど児童に合わせた対応を徹底しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				子どもの苦手なことを伝え、それに合わせた指導やサポートができる。	個別に合わせた計画を行い、児童一人一人に合わせた支援ができるよう努めて参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	3				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22			2	屋外での活動だけでなく、室内活動や工作なども行っている。	活動を通して様々な体験ができるように今後も立案して参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	5	2	5		他事業所との合同活動に取り組んでおります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1				
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	3					
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24				参加できない時もあるが、よく開催されていると思う。	外部講師を招いての研修会や茶話会を実施しております。	
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるだと思いますか。	24				送迎時に活動の様子を聞けるため安心している。	保護者様との日頃の情報を共有することでより良い支援に繋げて参ります。	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1		1	面談の機会がある際には実施したいと思う。	毎年の面談期間を設けております。それ以外でも随時面談は可能です。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	2		2			

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23	1			毎月の様子をお便りや写真で送ってもらっている。	毎月のお便りや活動の様子を写真でお送りしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2		3		地震や火災を想定した避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24				安心した環境で友達との関わりを学べて楽しいと話している。	安心して過ごせる環境づくりを徹底して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24				毎回楽しみにしており帰宅すると楽しかったと必ず話している。友達もでき仲良くなれたという話も聞いている。	今後も楽しいと思えるような場所であり続けられるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			子どもの気持ちに寄り添い丁寧に対応してもらえて感謝している。	今後もより良い支援が提供できるよう様々なご意見を参考にしながら携わって参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス彩みどり	公表日	令和7年 12月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		写真や絵カードを用いた掲示物を作成している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		職員間で目標に対しての振り返りを共有している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員間での会議や面談を通じて意見の把握や業務改善に繋げている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員間で立案を行い決定している。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		屋外活動と室内活動ごとにプログラムを工夫して提供している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝礼と昼礼を行い、情報の共有をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日のうちに振り返りを行い、翌日に再度話し合いを行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		計画の見直しに向けて半年に一度のモニタリングを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動を行う上で選択する場面をつくり促している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	2		今後はより交流する場を設けていきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や連絡帳にてその日の状況や出来事を伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		親子参加型の行事や茶話会を実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月のお便りやHP、LINE等を活用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域との連携を目的とした行事を検討ていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアル作成し職員間での共有、訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーチェックシートを活用し、確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録にまとめ事業所内で共有し、再発防止に向けて話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		職員間での会議にて研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			